

令和5年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業だけでなく、イングリッシュカフェを通して外国語指導員と会話をする機会を数多く設けたことで、自分の気持ちや考えを積極的に伝えようとする児童が増えた。
- ・授業の終わりに毎回取り組む「リフレクションシート」を活用し、その時間で分かったことや理解不十分だったことを明確にした。常に目標をもって、次の学びに向かうことができた。
- ・英語ノートや教科書に沿った学習ノートを取り入れ、書く活動を日常化させた。簡単な単語や名前が書けるようになったことで、学びへの意欲をさらに高めた。

(2) 課題

- ・会話の幅が広がることで、難しさを感じる児童もいた。環境による個人差があった。児童同士が教え合う場を増やし、楽しく活動しながらコミュニケーション能力を伸ばす。
- ・書く活動が増えることで、学習に困難が見られる児童の意欲を低下させる面もあった。アルファベットなど、易しい文字から繰り返し練習させて、「分かる」気持ちをもたせる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第6学年	○(目標値比較)	○(目標値比較)	/

(2) 分析(観点別)

① 高学年(第6学年)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると、大きく上回っている。	・目標値と比較すると、大きく上回っている。	・目標値と比較すると、上回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 高学年(第6学年)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・アルファベットを正しく書くだけでなく、聞き取ったアルファベットを正確に書くような活動を増やし、「聞く」力と「書く」力をつなげて、バランスよく技能を高められるようにする。	・外国語指導員や友達とコミュニケーションを通して気持ちや考えを伝え合う活動を増やし、表現に慣れるとともに、相手の気持ちや考えを想像しながら聞くことで、理解を深めるようにする。	・外国語を取り入れた多様な活動を積極的に取り入れ、題材に対する興味関心を高める。 ・「書く」活動にゲーム的な要素を加え、楽しく学習できるようにする。